

2023 年 11 月 30 日

勢和農村RMO通信
こう

Let's合!勢和!!

発行：勢和農村 RMO 協議会事務局（多気町丹生 1620-3）

第6号

農村型地域運営組織（農村 RMO）とは
人口減等により弱体化する集落機能を保全する
協議会組織のことです。

勢和地域では令和 4 年度に（一社）ふるさと屋を
事務局とする「農村 RMO 形成推進事業」が選定され、
農地の保全や住民の生活支援、
地域を活性化させるための仕組みづくりに
取り組んでいます。



ワークショップの様子

「未来語り」ワークショップを実施しました。

9 月末から 10 月にかけて全 6 回、勢和地区の様々な場所で、秋のおいしい味覚を味わいながら、勢和の未来について話す会を実施しました。進行役には、ファシリテーターの佐々木尚子さん（松阪市飯高町）をお迎えし、終始賑やかな雰囲気の中での活発な意見交換となりました。

当日は、参加者が 3 ～ 4 人程度のグループになってテーブルを囲み、まず初めに自己紹介を行いました。その後、これまでの勢和農村 RMO で確認した「『合』いきる勢和、認め合い、支え合い、誘い合い」の 3 つをテーマに、自由に言葉を出し合い付箋に書いて紙に貼っていきました。そしてグループごとに「未来新聞」を書きます。未来の日付を決めて、その新聞に「未来の勢和地域はどんな風であってほしいか」という思いを込めてみんなで内容を考えて書いていきます。勢和 10 大ニュースや地区ならではの話題、「丹生小復活」「冷泉が温泉に」「日本の生態系 100 選に選ばれる」「空き家の数が 0 に」など、明るく楽しく希望にあふれたユニークなニュースが並びました。

そして最後に、「今できることは何か」を見つめる時間になりました。また、普段話さない方々どうして共通の課題に取り組むことで新たな気づきがあったり、地域の知らなかった側面を見つけることができたり、出会いと交流の場にもなりました。

途中で「秋の味覚」として、地元のおいしいもの（五平餅や焼き芋、パンなどその都度ちがう食べ物がふるまわれました）をいただきながら和やかな時間が過ぎていきました。

ここで話し合われたことが、参加したみなさんの胸の内だけでなく、周りの人を巻き込んだ何かの形となって「活動」につながるよう応援できればと思います。



まめやおからドーナツ
川原製茶緑茶 & ほうじ茶ラテ粉



ふるさと屋 200 年米（新米）
彦左衛門さん五平餅



元丈の里営農組合さつまいも
川武酒店壺焼き焼き芋



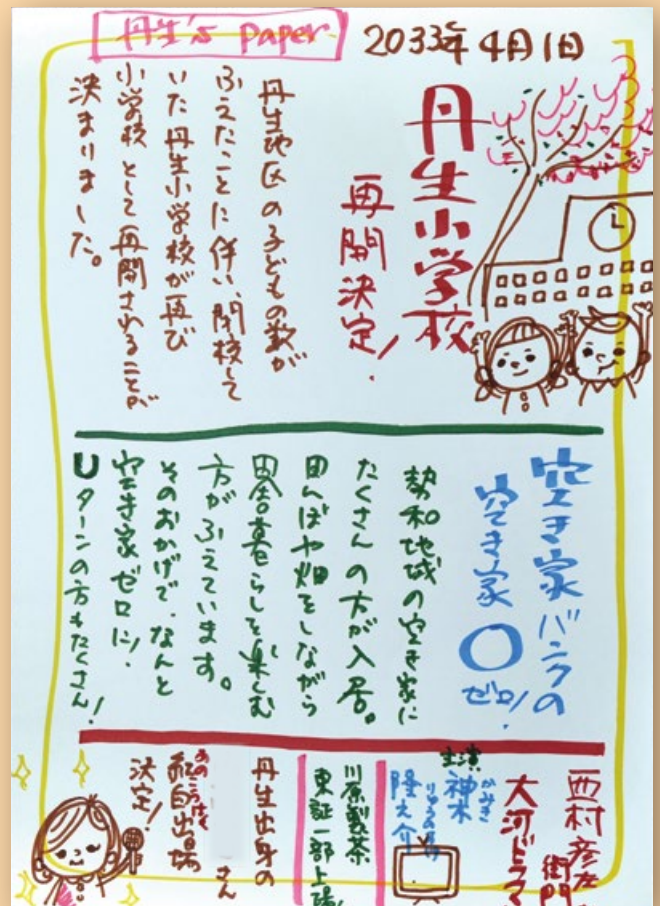
朝柄野呂さんのかぼちゃ
coco cafe かぼちゃスコーン



あきふゆ農園さつまいも
にこぱんカンパーニュ

「勢和の美味しい実りを食べる会」の参加者の皆さんが制作(一部)

「勢和の美味しい実りを食べる会」の参加者の皆さんが制作(一部)



勢和農村RMO公式LINEからぜひご覧いただき、感想をメッセージ下さい！

[見方]公式LINE→トップページ「夢語り」を押す



立梅用水開設200周年記念公演
劇団ほてい葵「おらの村に水が来た」



10月29日の文化祭展示ブースに
勢和農村RMOコーナーを設置

1年生のテーマは
農業で、休耕田を
どう活用出来るか
調べたり、意見交換
をしている

5回のワークショップで制作された勢和未来新聞は、10月29日に勢和中体育館で開催された立梅用水開設200周年記念講演やディスカッションや勢和農村RMO活動紹介展示コーナーでも活用されました。



農業をする人が
少ないことや、自給率
を上げるために出来る
事など、中学CS活動を
通してもっと知って
もらい、農業する
人を勢和で増やして
いきたい

小学校での
SOCS活動も嫌い
じゃなく、地域の人に
任せっきりの部分が
気になっていたから、
自分達でできる
のも嬉しい

勢和中1年生の展示コーナーで吉川星來さんと浦林凜さんにインタビューしました。